

【帰宅困難者対策経営トップセミナー2021 アンケート結果】

(Q1) 講演内容・講演時間についての評価 (Q1)

- ◎講演内容、講演時間とも、おおむね「満足」「やや満足」との評価となっています。
- ◎オンラインでの開催についても「満足」「やや満足」が多かったが、聞き取りにくい時もあったようで、「どちらともいえない」「やや不満足」の評価も一定数ありました。

| プログラム | | 満足 | やや満足 | どちらともいえない | やや不満足 | 不満足 |
|--|------|-------|-------|-----------|-------|-----|
| 講演 1 『帰宅困難者の受入れ時の課題と対応について』 森ビル株式会社 災害対策室事務局長 細田 隆氏 | 内容 | 12 | 12 | 4 | 0 | 0 |
| | | 42.9% | 42.9% | 14.2% | - | - |
| | 講演時間 | 10 | 15 | 3 | 0 | 0 |
| | | 35.7% | 53.6% | 10.7% | - | - |
| 講演 2 『千葉県北西部を震源とする地震の教訓を踏まえた帰宅困難者対策』 東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻教授 廣井 悠氏 | 内容 | 20 | 7 | 1 | 0 | 0 |
| | | 71.4% | 25.0% | 3.6% | - | - |
| | 講演時間 | 18 | 6 | 4 | 0 | 0 |
| | | 64.3% | 21.4% | 14.3% | - | - |
| オンラインでの開催について | | 16 | 9 | 3 | 1 | 0 |
| | | 55.2% | 31.0% | 10.3% | 3.5% | - |

(複数回答有)

(Q2) 期待していた情報は得られたかどうか

- ◎「期待していた情報は得られた (はい)」が 7 割と得られた情報は下表のとおり、
- ・民間企業の具体的な対策・訓練などの取り組み
 - ・帰宅困難者対策に取り組む必要についての情報
- などでした。
- ◎一方で「期待していた情報が得られなかった (いいえ)」、「どちらともいえない」については、理由として下表のとおり、
- ・特に目新しい情報は無かった
 - ・現実的な課題と対策のあり方についてお聞きしたかった
- などの意見がありました。

Q2 期待した情報は得られましたか

| 回答内容 | 件数 | % |
|------|----|------|
| はい | 19 | 70.4 |
| いいえ | 2 | 7.4 |

| | | |
|-----------|---|------|
| どちらともいえない | 7 | 25.9 |
|-----------|---|------|

「はい」 どのような情報か

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・森ビルの細田さまより、具体的な対策・訓練などの取り組みの紹介を受けられたこと。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・帰宅困難者の「受け入れ」だけが企業努力だと理解していたが、従業員の安全確保、従業員を帰宅（出勤）させる事で間接的な加害者に成り得る事が理解できた。大阪府北部地震は京都、阪神淡路大震災は兵庫でそれぞれ経験致しましたが、廣井教授の説明が「なるほど」と理解できました。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまパターンがあり、何を柱とするのかを明確にできた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・森ビル（株）様が取り組んでおられる内容については、参考になった。ただ、それを実行していくのには、ハードルが高すぎると感じた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・他社事例（森ビル様）の取り組み状況をお教えいただいた事が非常にありがたかったです。廣井教授の帰宅困難者対策は、非常にわかりやすく役に立ちました。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・災害が発生した場合、要するに有事の際に行政と民間協力事業所との連携を具体的に聞きたかった。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・帰宅困難者対策に取り組む必要についての情報が得られた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・同業他社（森ビル様）の具体的な取り組みが分かりやすく説明され、今後の弊社の取り組みにおいて参考になりました。帰宅抑制においても、データに基づいた影響度が示され、これまで以上に重要な取り組みであると再認識しました。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・森ビル様の防災に対する考え方やビルの設計思想など、ハード・ソフト両面における具体的な取り組みについて、参考になる部分が多くありました。又、廣井教授の帰宅困難者発生シミュレーションなど、震度7クラスの大地震が発生した際に、皆が一斉に帰宅行動をとる事の危険性がよく理解できました。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・他所の具体的な取り組みを伺う事ができ、当社で取り入れられる事など非常に参考になりました。ただ、規模（人数）によっては、大変難しい問題だと再認識いたしました。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・帰宅困難者問題の要点と対策の体系的な理解ができた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・他企業の取り組みを知り、防災対策上、大変参考になった。又、帰宅困難者の発生理由や発生状況について理解が深められた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・実際に帰宅困難者の受け入れ訓練をされた際の様子や課題をお聞きできたのが有益でした。又、無理に帰宅する事による弊害について、分かりやすくまとめていただいたので、社員への情報共有の際の参考にさせていただきます。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・帰宅困難の誤解に対する反証の具体例が良かった。 |

- ・森ビル(株)さんの防災対策への取り組みを聞き、ハード面、ソフト面の両面で防災対策に力を注いでいる事や防災訓練の頻度など、参考になりました。又、廣井教授の「帰宅困難者対策は、社員の命を守る対策だ」という事が、セミナーを通じてよくわかりました。

「いいえ」「どちらともいえない」 理由

- ・特に目新しい情報は無かった。現実的な課題と対策のあり方についてお聞きしたかった。
- ・森ビル様の事例は印象的でしたが、入居テナントには、やや重荷かなと感じます。
- ・概ね既知の情報であった。
- ・災害が発生した場合、要するに有事の際に行政と民間協力事業所との連携を具体的に聞きたかった。
- ・鉄道事業者として、駅での具体的な対応事例を期待していたので。
- ・コロナを考慮した具体策や社外の方（一般の方含む）に対する具体策を知りたかった。
- ・大阪府下における事業所の取り組み事例の紹介、及び南海トラフ地震の対策もあれば良かったと思われる。
- ・具体的な内容がなかった。複合ビルでの帰宅困難者受け入れについて津波が来る時の対応。
- ・行政がどのように考えている、どのようにしたいのかを教えてほしい。

(Q3) 自社の帰宅困難者対策に役立つかどうか

- ◎「役立つ（はい）」が 67%で、下表のとおり、
 - ・具体的な帰宅困難者対策を策定する上で、大きな参考として役立つなどでした。
- ◎「役立つでない（いいえ）」「どちらでもない」も約 3割あり、理由としては、下表のとおり、
 - ・セミナーによって、自社の対策内容が大きく変わる事はないと考えるなどの意見がありました。

Q3 自社での帰宅困難者対策に役立つと思われましたか

| 回答内容 | 件数 | % |
|-----------|----|------|
| はい | 22 | 66.6 |
| いいえ | 5 | 15.2 |
| どちらともいえない | 5 | 15.2 |
| 無回答 | 1 | 3.0 |

「はい」どのように役立つか

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・出勤や帰宅をいかにコントロールするか ⇒ その際の会社運営を事前に考えておく。 |
| <ul style="list-style-type: none">・森ビルの細田さまより具体的な対策、訓練などの取り組みの紹介を受けられた事。 |
| <ul style="list-style-type: none">・森ビルの細田さまの取り組み内容が、先進的で弊社でもできるだけ取り入れようと思いました。特に訓練などについては、できるだけ取り組んでいこうと考えました。 |
| <ul style="list-style-type: none">・まず、第一の行動や指示が明確になった。備蓄品確保の重要性。 |
| <ul style="list-style-type: none">・廣井教授のお話は、目新しい内容ではありませんでしたが、整理されて理解しやすかったです。もっと時間が欲しかったです。 |
| <ul style="list-style-type: none">・全社の防災スタッフミーティングで、KUG2をトライアルしてみたいと思います。その上で、参加者を増やし、BCP構築の参考とします。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ホテルという特殊な業種である為、全てが役立つかはわからないが、これから行うべき内容がわかり役に立つセミナーでした。 |
| <ul style="list-style-type: none">・社員の帰宅希望への対応。 |
| <ul style="list-style-type: none">・具体的な帰宅困難者対策を策定する上で、大きな参考として役立つと考えられる。 |
| <ul style="list-style-type: none">・取り組まれた内容と課題などが理解できた事は、今後、計画する上で非常に参考になります。 |
| <ul style="list-style-type: none">・森ビル様の避難訓練の実施や2.5km圏内で実際に若手社員が社宅に居住する事による初動体制、構築など、ここまで対策されているのかと感銘を受けました。又、廣井教授がお話しされていた行政・企業・個人レベルの役割分担についても官民でしっかりと議論していかなければならない課題であると再認識しました。 |
| <ul style="list-style-type: none">・滞留のさせ方、準備すべき事項など、本日の内容を参考にさせていただきます。特に訓練の多様化を取り入れていきたいと思います。 |
| <ul style="list-style-type: none">・特に現組織を震災の状況に応じて、震災対策組織へ移行、震災活動部署へ移行という取り組みが参考になりました。 |
| <ul style="list-style-type: none">・社員の生命を守る目的で行う事が、対策の理解と推進に役立つ。 |
| <ul style="list-style-type: none">・弊社でも地震発生時には、施設の安全が確認できれば、従業員は帰宅せずに留まる事を原則としているが、帰宅させた場合の混雑、混乱、危険性などが、シミュレーションを見てよく理解できた。 |
| <ul style="list-style-type: none">・一斉帰宅抑制の取り組み事例を参考に備蓄の確保の仕方や自家発電機の導入など、役立つと思われました。 |

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・担当者として役に立つセミナーでした。帰宅困難者対策の具体例がわかりやすく示されているセミナーでしたので、周知する際の参考に役立ちそうです。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・帰宅困難者対策について、自社スペースをどこまで開放するか、考えていくきっかけになる。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・自社ビルでの対策について、役立つ情報が得られた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における取り組み事例は、事業の対策事項の見直しに役立つ。 |

「いいえ」「どちらでもない」理由

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・自社の取り組みへのフィードバック。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・セミナーによって、自社の対策内容が大きく変わる事はないと考える。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・従業員を帰らせないなどは、参考になりました。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・本日の講師の話の中にもあったように、大企業においても中小の企業にあっても一番重要な事は、従業員の生命、身体を護る事で、この共通項目は理解されていると考えられるし、企業側の義務である事も理解されていると思うので目新しい発見が無かったから。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・自社では遠方に在住している社員が非常に多く、帰宅困難者対策を考える際には、独自の取り組みを多く取り入れていかなければうまくいかないと感じました。又、弊社の場合は、未成年者に対する対応が多くなる為、「誰が受け入れるのか」も重要な要素になると感じました。 |

(Q4) 自社での帰宅困難者対策への取組みが変化するかどうか

- ◎「変化する (はい)」が 5 割で、下表のとおり、
 - ・災害発生時の対策手順の明確化と訓練方法、備蓄品の数量など検討が必要などでした。
- ◎「変化しない (いいえ)」、「どちらともいえない」も 5 割弱あり、
 - ・現状でも対策は進んでいる為
 などの意見がありました。

Q4 自社での帰宅困難者対策への取組みが変化すると思われますか

| 回答内容 | 件数 | % |
|-----------|----|------|
| はい | 14 | 50.0 |
| いいえ | 1 | 3.6 |
| どちらともいえない | 12 | 42.8 |
| 無回答 | 1 | 3.6 |

「はい」 どのように変化するか

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 上記 Q2 に記した内容であるが「受け入れ」に重きを置いていたが、「従業員の安全確保」を第一に実施していく事に比重を変えていこうと考えました。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 現実的な対策について、独自に検討して取り組む必要がある。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ KUG 2 を実施する事で、より具体的な実効性のあるプラン作成に寄与できると考えます。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 備蓄品の数量など検討が必要。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 進めている内容については、特に大きく変化する事はないと思われませんが、再度見直しを行いたいと考えております。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 今すぐに変化があるかは疑問ですが、列車などの運休からの帰宅困難者の規模によっては、対策も変わる事が理解できました。よって、今後、様々な災害を想定し、それらに沿った対策を考慮しなければならないかと考えます。まさに本日午後、横浜の東急東横線で線路陥没があり、約 3 時間運転が見合わせられた事なども様々な想定の一部かもしれません。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 災害発生時の対策手順の明確化と訓練方法。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 当社としての具体的対策構築の必要性がある事、又、それを急ぐべきであるとの意識変化、認識の変化があると考えます。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 東南海地震の発生リスクが発生周期的にも高まっている現在、災害対策の取り組みはまったなしの状況であります。コロナ禍により新規の投資が厳しい側面がありますが、特に大阪市域は津波の浸水リスクも指摘されており、ハード・ソフト両面において、可能な限り対策に取り組んでいく必要があると感じています |
| <ul style="list-style-type: none">・ 現状、様々な対応策を検討している状況です。専門家の先生方の話を活かす事で、より良い内容で策定していけると思います。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ アレルギー除去の非常食は既に対応しているが、幼児などへの対応ができていないので検討したい。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 帰宅困難者対策について、震災訓練時などの機会を捉え、従業員に周知したい。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ まず、日中多くの社員が出勤している状態を想定した対応を管理職と検討していきたいと思いますが東京本部との連携が必要な部分が多い事から、どこまで受入れ体制を進展させられるかについては、不透明な部分があるのが正直なところです。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 店舗管理職が理解、把握する事で社員への伝達がスムーズにでき、資料を確認すれば概ねの内容は把握できる為、意識改善が安易になったと思います。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 帰宅困難者対策について、自社スペースをどこまで開放するか、考えていくきっかけになる。 |

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・行政との連携が肝要であると考えているが、その辺の事の方針などを決めていかないと難しいのではないのでしょうか。 |
|---|

「いいえ」「どちらともいえない」 理由

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・現状でも対策は進んでいる為。 |
| <ul style="list-style-type: none">・セミナーによって、自社の対策内容が大きく変わる事はないと考える。 |
| <ul style="list-style-type: none">・自前店舗でないので、家主の意向確認が必要。受け入れとなった際の商品在庫の防犯面が心配。 |
| <ul style="list-style-type: none">・会社が考える事”という意識がまだまだ強く、従業員に“自分事”として考えていただくには、中々時間がかかりそうです。他社の取り組みを参考に少しずつでも意識改革をしたいと思えます。 |
| <ul style="list-style-type: none">・今回の情報を踏まえ、当社の対策の検証を進めたい。 |
| <ul style="list-style-type: none">・弊社では、新聞発行業務の継続（BCP）に力点を置いています。災害時の帰宅抑制、出社抑制ともある程度、意識づけはできていると思う為。担当者としては、災害時には社員の命を守る事が何より大事ですので、継続して帰宅困難者対策へ取り組んでいこうと思えます。 |
| <ul style="list-style-type: none">・従業員への帰宅困難対策については、お話しいただいた内容と同様の対策を行っている。 |

(Q5) 本日のセミナーについて、改善点やその他のご意見がありましたらお聞かせください。

◎下表のとおり、

- ・今後、行政と企業との連携などをテーマにした講演をお願いしたい、
 - ・帰宅困難者の受け入れに関する具体的な想定的事例に基づいた研修をお願いしたい
- などの意見がありました。

【ご意見】

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・やはり、各企業が取り組んでいる内容、その中での成果や問題点、問題点を受けての改善点などを紹介して貰いたい。 |
| <ul style="list-style-type: none">・行政の補助例。(金銭、情報提供等) |
| <ul style="list-style-type: none">・司会の方が単なる時間調整役でなく、コーディネーターとしてストーリーの軸となっただけだと全体の一体感がでたと思います。 |
| <ul style="list-style-type: none">・一部の方のマイク音声が入っており、セミナー中でも非常に聞き苦しいところが多々ありました。講師のおふたりの声は鮮明に聞こえましたが、司会のお市の声の方が、こもった二重音になっており、聞きづらい状況でした。 |

・ 今後は、行政と企業との連携などをテーマにした講演をお願いしたい。具体的な連携としては、帰宅困難者を受け入れる場合のタイミングであったり、受け入れ後に発生する様々なトラブルなどの対処に関する連携など。

・ Web開催に不慣れな方と思いますが、マイクONされている方がおり、聞き取りにくい部分がありましたので、事務局開催側にて参加者全員を強制ミュート処理をして対応いただけるとありがたい。

・ ショッピングセンターなどの従業員の一斉帰宅抑制事例を紹介して欲しいと思います。

・ 先生方の音声は聞きやすかったですが、本部の方の音声環境が悪く、反響や割れといった事で聞き取りにくい状況でした。

・ 鉄道を含む様々な事業者の取り組みを幅広く紹介して欲しい。

・ 実際に受け入れをされた事例から見えてくるものは大きいと思われまますので、今後もセミナーなどを通じてご共有いただければありがたいです。

・ 帰宅抑制の取り組み事例の考え方などのポイントを教えて欲しい。

・ 帰宅困難者の受け入れに関する具体的な想定の実例に基づいた研修をお願いしたいと思います。新しい事項を踏まえつつ、継続してセミナーを行ってもらっていますので、引き続きよろしく願いいたします。

・ 自治体（大阪市）の係り方をセミナーと同時に確認するような時間があっても良かったと思う。